

地域説明会 平成28年11月25日開催 <<南畑公民館>>

①

Q 運動公園の充実をどう考えているのか。

A 教育部長（総務）

運動公園については、市長のビジョンにも充実が掲げられており、その趣旨を含め検討に入りたい。

②

Q みずほ台東通線は後期基本計画内でどの程度進むのか。

A まちづくり推進部長

みずほ台東通線については、みずほ台区画整理境から大應寺のある道路（市道第5113号線）までの区間の地権者説明を実施し、小規模区画整理事業と併せた整備手法で進める予定。多くの地権者からは承諾をもらっているが全員ではない。以降の区間についてはもう少し時間がかかる予定。

③ 早く全線整備をしてほしい。しののめの里整備の条件でもある。財政状況もあるだろうが、積極的に進めてほしい。

④

Q 土地利用構想図にある赤の区域は何か。

A まちづくり推進部長

新しい活力の創出ゾーンと位置づけており、新しい産業や都市の活力を向上させていくためのゾーンとしている。

A 総合政策部長

市全体を見て、各地域の特長を活かした土地利用を進めていく考え。和光富士見バイパスが延伸されれば、シティゾーンと併せてこの地域の魅力は上がると思う。具体案を含め実現には時間がかかると思うが、市としては大切な土地と認識しており、活用を探るため、将来のビジョンとして土地利用構想図に表現している。

⑤

Q 南畑小学校の生徒は市内全校生徒の約4%程度しかいない。さいたま市では大学生が塾に行けない子を教えている。先生に今よりさらに残って教えてもらうのではなく、希望のある生徒に対し校舎を活用して、下校後にもう1回勉強させる機会を

設けてはどうか。貧困のために塾へ行けない、ではおかしいと思う。

A 子ども未来部長

アンケートをとると、生活困難世帯は無料の塾があれば使いたいとの声が多い。大学生のボランティアなどを募り、地区ごとに学習支援が対応できるよう計画していきたい。

A 教育部長（学校）

学力の保障は義務教育で重要な点。学校で基礎を教え、塾などは進路の幅を広げるためのもので家庭教育の部分。補習はやっているが、学校以外の勉強時間が全国平均より低い状況であり、今後検討の必要はある。学校教育の中身の充実と家庭教育支援を進めていく。

⑥

Q 医療関係者は、あいサポート運動に関心がないように思う。関係団体などを通じ、病院関係者にも周知してほしい。

A 健康福祉部長

あいサポートについて、医療機関への投げかけも行っている。先日も聴覚障がい者の方をお呼びして講演会を行った。特に若い医師などには理解が進んでおり、徐々に広がりつつあるものと認識している。今後も市として医療機関と連携し周知に努めたい。

⑦

Q 市内3駅での立体交差は考えていないのか。朝夕は開かずの踏切で、緊急車両が動かない。今は電車の本数も増えている。全てとは言わないが、みずほ台や鶴瀬などのメイン路線で、立体交差を検討してはどうか。

A 建設部長

立体交差の問題については市も認識している。検討もしているが、なかなか前に進まないのが現実。東上線沿線自治体が加入している改善対策協議会の中でも高架化などを要請している。

⑧

Q 都市計画法34条11号の区域や特定環境保全公共下水道の整備について、見直しをお願いしているが、検討に時間がかかり過ぎている。地価など様々な影響が出る前に早く決断してほしい。

びん沼川については、下流の水害防止のため土地を提供し、調節池・放水路整備

に協力した経緯がある。現在、川沿いの道路では路上駐車が多くすれ違えないし、ゴミが非常に多い。県は草刈りに併せてゴミを集めるだけで、なかなか片付けてくれない。県が片付けるべき。川沿いの道路は県と協議し、市道として管理し、駐車禁止措置と舗装を進めてほしい。

A 建設部長

都市計画法34条11号区域については、まちづくり協議会からも意見をいただいている。今後、庁内の検討委員会でスピード感をもって検討を進めたい。

釣り客の駐車問題については、県も市も問題として認識している。県への要望は担当課に確認したい。びん沼川地域の整備も考えながら、課題を解決していきたい。

A 市長

青年の家跡地の活用を起爆剤として、南畑地域の賑わい、路上駐車、川沿いの道路の市道化などを併せて、地域の方から意見をいただきながら考えていきたい。

⑨

Q びん沼川について、国は絡むのか。釣り人を取り締まるときに、国土交通省絡みと言われた。

A 市長

管理は県が行っている。

⑩ 民間バス路線の充実により直接市役所に行けるようになったが、医者に行くときなど、現実的には使いづらい。いつかは車の免許を返上しなければいけないことを考えると、公共交通を壊さない程度でデマンド交通を進めてほしい。

⑪

Q 市民総合体育館の休館に伴い、現在は三芳町やふじみ野市の施設を借りて大会などを開催しているが、相当距離がある。スポーツ団体でも高齢化が進んでおり、参加人数が減少している。5月連休明けにもオープンできるとのことだが、体育館は1日も早く再開してほしい。

A 教育部長（総務）

体育館の工事は当初の目標通りに進んでいる。3月までにはメインアリーナとサブアリーナの工事が完了予定で、4月は備品整備などを予定している。5月連休明けにオープンできるよう進めている。

⑫

Q 東消防署前に右折帯をつくったことで歩道が狭くなり、通学に支障をきたしている。地元からも問題として指摘しているが、県にもう一度現場を確認してもらい、検討を進めるよう市からも県へ要望してほしい。

A 建設部長

現地を確認し、改善に向けて県と協議を進めていきたい。

⑬

Q 南畑ふれあいプラザの利用者をみると、農業者だけではなく公民館の分館的な利用が多い。そのため、地域の人が使えない時があり、元の農業センターに戻してくれないかとの要望がある。市の考えはどうなのか。

A まちづくり推進部長

現在の利用形態は本来の目的とは違っており、検討はしている。いずれは6次産業など農業的な利用をしたいと考えている。

⑭ 考える時間は短くて検討しないと南畑ふれあいプラザの建物も老朽化してしまう。スピーディーにお願いしたい。